

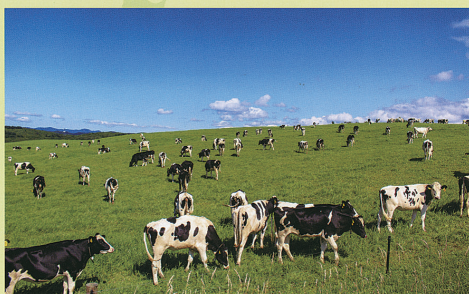
北海道酪農の150年の歩みと将来展望 — 酪農技術の発展と酪農哲学の再考 —

北海道酪農の 150年の歩みと将来展望

— 酪農技術の発展と酪農哲学の再考 —

監修：干場 信司

編集：北海道酪農の歩みと将来展望を考える会



デーリィマン社

北海道酪農の胎動から150年を期に、酪農の本質を思い起こし、将来方向を考える1冊。「循環酪農の哲学」が創られるまでの足跡、技術進歩の歴史と将来展望、多種多様な酪農家に各々の哲学を問うインタビュー・座談会の3章立て。

監修 干場 信司

編集 北海道酪農の歩みと
将来展望を考える会

発行 デーリィマン社

B5判 250頁 定価 2,200円(税込)

送料 520円(税込)

※本紙裏面にお得な情報があります。

主な内容

第1章 酪農哲学はこうして創られた (干場信司)

第1節 北海道酪農の萌芽：

明治以前/酪農に向けての動き/七飯と北海道酪農

第2節 酪農哲学はどのようにしてつくられたか：

宇都宮仙太郎/町村敬貴/黒澤西蔵/改めて「酪農哲学」を顧みる/他

第3節 本書における時代区分

第2章 技術分野における150年の歩みと将来展望

第1節 飼料の視点から (中辻浩喜)：

デンマーク式酪農の飼料生産技術/TMR方式/自給飼料の再認識/他

第2節 乳牛の個体管理の視点から (森田茂)：

飼養頭数の拡大/自動搾乳技術の歴史/アニマルウェルフェア/他

第3節 畜舎の視点から (高橋圭二)：

黎明期(キング式/ギャンブレ牛舎)/発展期(フリーストール/スラットバーン/PT型ハウス/ケンネル牛舎)/転換期(大規模フリーストール/搾乳ロボット牛舎)/他

第4節 施設・機械の視点から (小宮道士)：

国産農機具誕生/トラクタ作業への転換と酪農近代化計画/省力化と糞尿処理/スマート酪農、人口減少・高齢化に対応する技術/他

第5節 畜産環境保全の視点から

(干場信司/猫本健司/菱沼竜男)：

家畜糞尿管理の歩み/投入化石エネルギー量から見たバイオガスパラント/堆肥化処理、液肥化処理とメタン発酵処理/持続的・環境保全的酪農は物質循環から

第6節 総合的な視点から (加藤博美/佐々木美穂)：

単一評価指標から多面的・総合的評価指標へ/放牧酪農の総合的評価/濃厚飼料給与量の総合的評価/こころの健康と経済性/酪農場で働く女性の苦悩と将来、社会学的視点から/適正な飼養密度を総合的に考える、他

第7節 酪農に関する行政・技術普及の視点から (新名正勝)：

酪農に関する行政/酪農に関する技術普及/将来展望、他

第3章 百人百酪(私が考える酪農)

【シンポジウム】北海道酪農草創期から今につなげるべきもの

【対談】「北海道酪農・畜産の在り方—大型経営と農協に期待されること」

浜中町農協会長理事・石橋榮紀さん/ (株)ノベルズ代表・延與雄一郎さん

【インタビュー】

女性経営者から見た酪農のこれから：中村牧場・中村由美子さん

酪農の将来とチーズの役割：共働学舎新得農場代表・宮嶋望さん

仲間同士の連携と協調：細田牧場・細田治憲さん

6次産業を続けるデンマークに学ぶべきこと：酪農家・西川求さん

酪農が持つ多様性と価値：リバティヒル広瀬牧場・広瀬文彦さん

【講演】私の農業：ありがとう牧場・吉川友二さん

【座談会】新規就農の魅力は「自分でやり方を決められること」：

青井慎一郎さん/萩原拓也さん/真家裕史さん

おわりに：多様性の容認と守るべき基本

お申し込み

定価は税込みで 2,200 円ですが、下記宛申し込んでいただければ、著者割り価格（税込み 1,760 円）でご購入いただけます。下表にお名前等をご記入のうえ、下の申し込み先まで、メールまたは FAX でご連絡願います。

申し込み先： 北海道酪農の歩みと将来展望を考える会（代表：干場信司）

○ email： hoshinji914@gmail.com

○ FAX： 011-381-2113

○ 送 料： 3 冊以上は無料。1 冊 370 円、2 冊 520 円。

	お名前	(〒) ご住所	お電話	冊数
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				